

令和7年度神戸大学後期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

小論文（法学部）

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和7年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

本問は、限られた時間と紙幅を前提に、安楽死を扱う文章を理解し、整理・表現する能力を問うことを意図した問題である。

評価のポイントは、以下の通りである。

問1については、安楽死、尊厳死、積極的安楽死、消極的安楽死、医師幫助自殺という類似する概念の意義や相互の関係を適切に論述できるかが評価対象となる。

問2については、著者の述べる「すべり坂」の意義を精確に示したうえで、資料に記された「すべり坂」について、適切に理解・整理し、全体を要約しつつ説得的に表現できるかが評価対象となる。